

京都探究ワーク **歴史** ①



時代の流れを名所旧跡からとらえよう。

次にあげる京都府内の史跡・名所について、説明文を参考にして時代の古い順に名称を書き込もう。

平等院	八木家	方広寺	銀閣寺	建仁寺	京都タワー	平安神宮	東寺	二条城	妙顕寺	三十三間堂
藤原頼通が極楽浄土の思想を表した寺院で、国宝と世界遺産に登録	新選組が宿舎としていた邸宅で、当時の刀傷が残る	豊臣秀吉ゆかりの寺で、大坂冬の陣の発端となった大鐘が今もある	足利義政が建てた山荘をのちに寺にしたもので、北山文化の代表	依屋宗達作の『風神雷神図』を寺宝にもつ京都最古の禅寺	高さ131メートルで、灯台をモチーフにした京都駅前前のシンボル	平安遷都千百年記念事業として、平安京の大内裏を再現した神社	平安京鎮護のための寺院(官寺)として建立(正式名は教王護国寺)	徳川家康が上洛時の宿として建て、幕末に徳川慶喜が大政奉還をした場所	琳派の代表的画家の尾形光琳ゆかりの庭園や光琳の墓がある	後白河上皇が平清盛に資材協力を命じて建てた(正式名は蓮華王院)

時代	平安初期	平安中期	平安後期	鎌倉	室町	安土桃山	江戸初期	江戸中期	江戸後期	明治・大正	昭和・平成
史跡・名所	東寺	平等院	三十三間堂	建仁寺	銀閣寺	方広寺	二条城	妙顕寺	八木家	平安神宮	京都タワー

>>>リンク 上記の各寺社・名所施設名には、それぞれ公式サイトへのリンクが付けてあります。(方広寺のみ公式サイトがないため別サイト)



仏教の宗派について理解を深めよう。

平安時代の仏教と鎌倉時代の仏教の違いについて、各宗派の教えや信仰した人々の身分などに着目して、特徴をまとめよう。また、次にあげる京都の寺院の宗派を調べて書き込み、次に各宗派に関連する人物名を右下の④欄から選んで記入しよう。



《平安仏教と鎌倉仏教の違い》

平安仏教には、空海が開いた真言宗と最澄が開いた天台宗があり、それぞれ山岳仏教や密教などの教えが皇族や貴族を中心に信仰を集めました。一方、鎌倉仏教は、念仏を唱えさえすれば救われるとする浄土宗や、たとえ悪人であっても阿弥陀仏を信じれば誰もが救われると説く浄土真宗、座禅によって自ら悟りを開くことを説く禅宗など6つの新興宗教が誕生し、それぞれ分かりやすい教えによって、庶民に信仰が一気に広まったという違いがあります。

解説

 ちおんいん 知恩院 えいこんどう せいりょうじ (他)永観堂、清凉寺など	 ひがしほんがんじ 東本願寺 とうほんがんいん (他)西本願寺、養源院など	 みょうけんじ 妙顕寺 ほんのうじ こうえつじ (他)本能寺、光悦寺など	 さんじゅうさんげんどう 三十三間堂 さんぜんいん (他)三千年、六角堂など	 だいごじ 醍醐寺 とうじ だいかくじ (他)東寺、大覚寺など	④ 関連人物名 ① 空海 さいしょう ② 最澄 ほうねん ③ 法然 しんらん ④ 親鸞 にちれん ⑤ 日蓮
▶宗派 浄土宗	▶宗派 浄土真宗	▶宗派 日蓮宗	▶宗派 天台宗	▶宗派 真言宗	
▶人物 ③	▶人物 ④	▶人物 ⑤	▶人物 ②	▶人物 ①	

>>>リンク 上記の各寺社・名所施設名には、それぞれ公式サイトへのリンクが付けてあります。